

ふじ まえ ひ がた 藤前干潟とラムサール条約

● ふじ まえ ひ がた き き 藤前干潟の危機

藤前干潟は庄内川の河口に広がる約300haの干潟。日本有数の渡り鳥の中継地で、多くの野鳥が飛来します。かつてこの場所はごみの埋立候補地でした。名古屋市ではごみが増え続け、埋めるところがなくなってきたからです。しかし、ここは渡り鳥や干潟の生きものにとって重要な場所。守ろうと立ち上がった市民の声などによって計画は中止されました。これをきっかけに、市民・事業者・行政が協働で大幅なごみ減量に取り組むことになりました。



分別に取り組む市民
(ごみ非常事態宣言当時)

● ラムサール条約登録

ラムサール条約とは、1971年にイランのラムサルという町で決められた「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」のことです。世界の国々が力を合わせて世界の重要な湿地を守るために結ばれました。日本は1980年にラムサール条約に加盟、藤前干潟は2002年11月、日本で12番目にこの条約に登録されました。



ラムサール条約登録認定証

ふじ まえ ひ がた ふじ まえ ち く

藤前干潟 藤前地区

(R4名称変更予定)



環境省



ひがたたいけんのイベントもあるよ
くわしくはふじまえひがたかつどうセンターにきいてね

環境省

かんきょうしょう ふじ まえ ひ がた かつ どう

環境省藤前干潟活動センター

名古屋市中区藤前2-202 ☎052-309-7260 🕒9:00~16:00 休開館時間に変更される場合があります。あらかじめ確認をお願いします。

休 毎週月曜日(祝日の場合は次の平日)、第3水曜日(祝日の場合は第4水曜日)、年末年始(12/29~1/3)

🚌 三重交通バス(イオンモール名古屋茶屋(南陽町藤前経由)行き)「南陽町藤前」で下車、徒歩15分

P 無料駐車場あり 🎫入場無料



い もの たい けん かく しゅう ば 生き物とふれあう体験学習の場

ラムサール条約湿地 藤前干潟

フジマエ、イキモノ、モノガタリ

2022年3月

発行: 港区役所地域力推進室

〒455-8520 名古屋市港区港明1-12-20 TEL:052-654-9622 FAX:052-651-6179

協力: 名古屋市野鳥観察館/環境省名古屋自然保護官事務所/NPO法人藤前干潟を守る会

※このパンフレットは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

くわしくは
こちらから



ホームページ

じょう やく しつ ち
ラムサール条約湿地



ふじ まえ ひ がた
藤前干潟
フジマエ、イキモノ、モノガタリ



環境省



藤前干潟で見られる鳥たち

藤前干潟には100種類程度の野鳥がやってきます。そのほとんどが渡り鳥で、野鳥の種類によってやってくる季節が異なります。

旅鳥

春・秋にやってくる鳥（藤前干潟を旅の中継地にいる鳥）

オオソリハシシギ



シギの仲間（中型）。上に反った長くちばしを泥の中に刺して食べ物を探します。北（アラスカ）から南（オーストラリア・ニュージーランド）までの約1万kmを地上におりないで一気に渡る個体もいます。

干潟で見られる時期

春 秋

ダイゼン



このはねは夏羽だよ

チドリの仲間。夏の羽の色が白と黒にわかれていきます。干潟からゴカイをひっぱりだして食べている姿がよく見られます。名古屋市野鳥観察館のロゴマークになっています。

干潟で見られる時期

春 秋

干潟で冬を越す群れもいます。

ハマシギ



シギの仲間（小型）。多い時は1,000羽くらいの群れで飛びます。そのようすはキラキラ輝く宝石のように見え、とてもきれいです。

干潟で見られる時期

春 秋

干潟で冬を越す群れもいます。



夏鳥

夏にやってくる鳥

コアジサシ



子育ての真っ最中よ

カモメの仲間（小型）。春に飛来し、ひらけた砂利の上などで子育てします。かつては藤前干潟周辺に多くのコアジサシが来ましたが、今は適した繁殖地がなくなり、絶滅が危惧されています。

干潟で見られる時期

春 夏

ササゴイ



えものを見つけたよ

サギの仲間。春に子育てをするために藤前干潟に飛来します。羽が笹の葉のように見えるので、この名前がつけました。干潟の水際でじっと魚を待ち、首を素早くのばして魚をとります。

干潟で見られる時期

春 夏

冬鳥

冬にやってくる鳥

オナガガモ



カモの仲間。細くて長い尾羽が特徴です。オスは頭がこげ茶色で、首と胸は白色。干潟の浅い場所で逆立ちして、干潟の泥などをこしてエサを食べます。多いときで2,000羽が飛来します。

干潟で見られる時期

冬

ズグロカモメ



カモメの仲間。ユリカモメに似ていますが、やや小さく、くちばしは黒色で短め。冬の間は頭が白色ですが、北へ渡る春先になると黒色に変わります。干潟のカニを捕まえて食べています。

干潟で見られる時期

冬

ふじ まえ ひ がた いち ねんじゅう み とり
藤前干潟で一年中見られる鳥

ミサゴ



©東海・福永ネットワーク

タカの仲間。翼を広げると160~170cmにもなり、頭が白色で翼が濃い茶色。おもに魚を食べ、藤前干潟では海に飛び込んでつかまえるようすも見られます。秋～冬にかけては、20羽以上飛来する日も。

ダイサギ



©東海・福永ネットワーク

サギの仲間。くちばしの色は黄色ですが、春先から初夏にかけては黒色に変わります。干潟の水際で魚をねらっている姿がよく見られます。

カワウ



©東海・福永ネットワーク

ウの仲間。全身ほぼ黒色ですが、繁殖期は頭と腰が白色に。多いときは7,000羽以上のカワウが飛来します。水中を泳ぎ、群れで魚を追いかむようすは迫力があります。



©東海・福永ネットワーク



北から南へ12,000km以上！
とてつもない旅をする渡り鳥。

渡り鳥は季節によって地球の南北を移動します。鳥の種類によりですが、繁殖地から越冬地まで12,000km以上も旅をします。藤前干潟は、そのように長い距離を旅する渡り鳥たちにとって、休憩しエネルギーを補給する重要な「中継地」となっています。

渡り鳥はどうして迷わないの？

太陽や星の位置、磁気などをたよりに方角を定め、においや記憶も使いながら目的地へたどりつくと考えられています。

干潟に住む生きものたち



©NPO法人藤前干潟を守る会

ケイソウ

水中や干潟の表面にいる植物プランクトンです。食べる・食べられる、食物連鎖のはじまりになります。



©NPO法人藤前干潟を守る会

ゴカイ

泥の中の栄養分を食べると同時に、魚類や鳥類など、いろいろな生きもののエサになっています。



©NPO法人藤前干潟を守る会

ヤマトオサガニ

写真のように目が高い位置にあります。大型のシギ類はこのカニが好物です。



©環境省

ヤマトシジミ

海水と河川水のまざった場所に住むシジミです。藤前干潟にいる二枚貝の代表です。



©NPO法人藤前干潟を守る会

アナジャコ

干潟の泥の中に2m以上の深い穴を掘って暮らし、水中の栄養分を食べています。



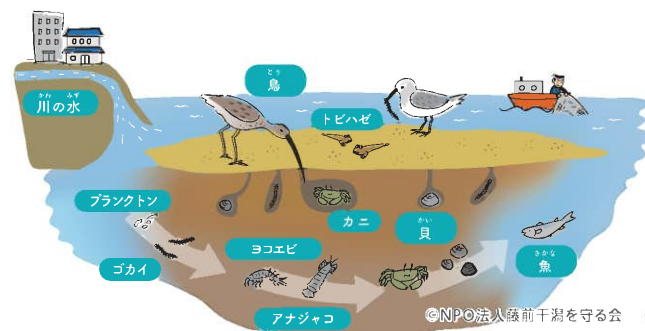
©環境省

トビハゼ

前足のような胸ビレと尾ビレで泥の上をはねて移動する魚です。絶滅が危惧されています。

食物連鎖ってなに？

生き物には「食べる」「食べられる」の関係があり、この関係が鎖のようにつながっているのが食物連鎖と呼ばれています。藤前干潟に流れ込んでくる川の水に含まれている有機物をもとに植物プランクトンが発生します。プランクトンなどをゴカイ、アナジャコ、カニ、貝などが食べ、さらにそれらを魚や鳥が食べます。ここに鳥がたくさん来るのは、エサになる生き物が多くいるからです。藤前干潟では食物連鎖を通じて、生き物が有機物を食べ物として取り込むことによって、河川から流れ出た泥や水の浄化が行われています。



©NPO法人藤前干潟を守る会

藤前干潟ではいろんな体験を用意してるよ!

足跡をあとにしてみよう!



フォトスポットで
写真を撮ろう!



野鳥観察館の
望遠鏡で野鳥を
観察してみよう!



観察のポイント

- ▶ 干潟が出る時間（干潮時間）を調べていくのがおすすめ!
満潮から干潮に向かう時間が最適
- ▶ 午前中の観察がおすすめ!!
太陽の光を背にできるため、観察しやすいよ

藤前干潟スマホスタンプラリーで「いきものずかん」をつくらう!

参加方法はスマートフォンで右の二次元コードを読んで、
アプリをダウンロード! デジタルスタンプラリーに
参加できるよ。ラリーのスタンプは、案内看板などにある
二次元コードをアプリのカメラで読むと集められるよ!



こんなにあるよ! スマホスタンプラリー 特典

- いきものずかんができてあがるよ!**
デジタルスタンプを集めると、藤前干潟に生息する渡り鳥などの写真や鳴き声といった紹介情報が見られるよ。全部集めて、いきものずかんを完成させよう!
- デジタルスタンプを集めてパズルもつくろう!**
デジタルスタンプをひとつ集めるごとに、パズルのピースもひとつゲット。
スタンプラリーを進めて、パズルも完成させよう。どんな絵ができるかな?
- いきものずかんはおうちでも見られるよ!**
集めた紹介情報はアプリのライブラリーでいつでも見られるよ。おうちに帰ってからも、鳥の名前や鳴き声のこと、いきものずかんで見直してみてね。



藤前干潟 稲永地区 (名古屋市港区野跡)



名古屋市野鳥観察館
館内の望遠鏡で藤前干潟の
野鳥を観察できます。

藤前干潟 (庄内川河口)

稲永公園

CSアセット
港サッカー場

野球場



環境省稲永ビジターセンター
藤前干潟のあらまし、渡り鳥、
保全の取組などを学ぶことが
できます。

デジタルスタンプは全部で7か所!
全部集めると、アプリの中の
パズルが完成するよ!

★がついているところ
デジタルスタンプが集められるよ

この二次元コードを
アプリで読んで
デジタルスタンプを集めよう



施設のご案内

- 名古屋市野鳥観察館
電話: 052-381-0160
- 環境省稲永ビジターセンター
電話: 052-389-5821

◆ 開館時間

- 9:00~16:30 (野鳥観察館)
- 9:00~16:00 (稲永ビジターセンター)
- ※ 開館時間は変更される場合があります。
あらかじめ施設におたずねください。
- ◆ 住所/名古屋市港区野跡4-11-2

◆ 休館日/月曜日 (祝日の場合は次の平日)

- 第3水曜日 (祝日の場合は第4水曜日)
- 年末年始 (12/29~1/3)

◆ 入場料/無料